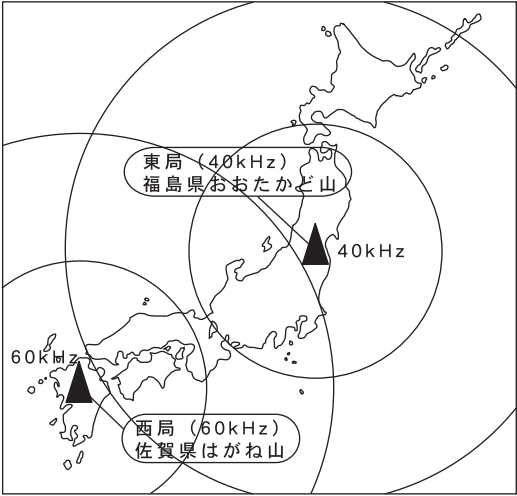
電波時計について

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。
標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ１０万年に１秒の誤差という精度を保っています。
標準電波送信所は福島県と九州の２ヶ所にあり、福島局は４０KHｚ、九州局は６０KHｚの周波数で標準電波を送信しています。　各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径１０００Kmとされています。

※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信出来ないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波受信出来ない場合もあります。

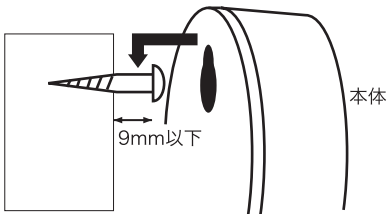
お手入れについて

■ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
■殺虫剤・ヘアースプレーなどがかからないようにして下さい。変色変形の恐れがあります。
■プラスチック製の時計の場合、枠を拭くときは湿ったやわらかい布で拭いて下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いて下さい。
■木枠・金属枠の時計の場合、汚れやほこりを取るときは柔らかい布で乾拭きして下さい。

※お客さまが分解しますと修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また、保証の対象外となりますのでご注意下さい。

時計の掛け方について

▶ 木の厚い壁、木の柱に掛ける時

■添付の掛け具（木ネジ）をご使用ください。
掛けネジは垂直な壁面からネジの残りが9mm以下になるようにねじ込んで時計を確実に掛けてください。

▶ 石膏ボード、コンクリート等の壁に掛ける時

■添付の掛け具（木ネジ）は使用しないでください。
壁の材質、構造に合った「3kg」まで耐えられる、市販の掛け具（吊り金具）をご使用ください。

仕様場所について

本機は、電波を受信する時計です。
正常に機能させるために、以下のような場所では電波受信しにくくなりますのでご注意下さい。

■ビルなどの地下。
■高電線、架線の近く。
■金属製雨戸やブラインドの近く。
■自動車・電車・飛行機などの乗り物の中。
■テレビなどの家庭電化製品やあパソコンなどOA機器の近く。
■工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ。
■金属板の上や山などの電波を遮断するところや、朝夕の時間帯や雨天の時。

下記のような場所では使用しないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす事があります。また本商品は業務用ではありません。

振動や衝撃の激しい場所

浴室などの湿気の多い場所

強い磁気のある場所

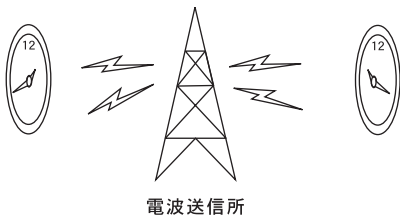
ほこりの多く発生する場所

温度が40゜C以上になる場所

温度が-0゜C以下になる場所

■温度が４０度以上になる所や直射日光の当たる場所。屋外、暖房器具などの熱風や火気の近い所。
■温度が０度になる所。プラスチック部品や電池劣化が起こる事があります。
■塵・ほこりが多い所。空気中に舞い上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
■大型テレビ・スピーカーの側や強い磁気のある場所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり時計が止ることがあります。
■浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
■振動のある所。不安定な所。
■工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車に付着し、時計が止まる事があります。
■ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計を傷める事があります。

〔正しい電波受信〕

受信が困難な場合は、受信条件の良い場所に本機を移動すれば通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。

電波送信所

本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

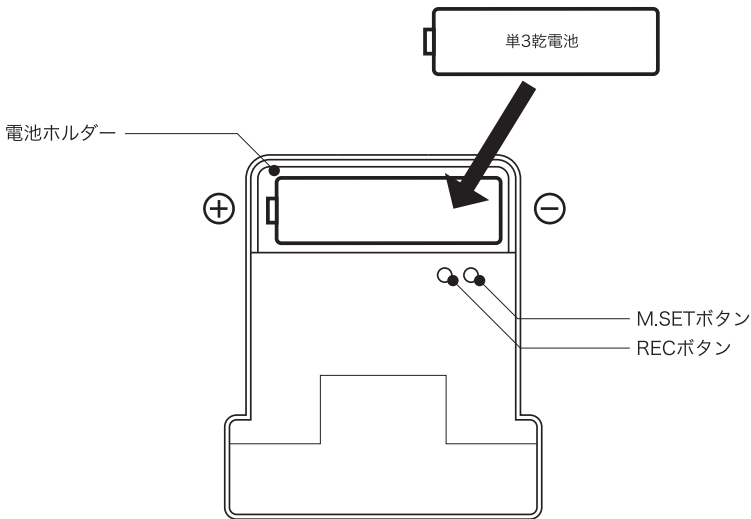
■電波を受信しない場合は窓際まで行き、電波送信所の方を向かせ再度電波の受信をしてください。

製品仕様

■時計精度:平均月差±30秒以内〔常温での使用時〕
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
■表示精度:±１秒以内
（電波受信による時刻修正の直後）
■使用温度範囲：0℃〜＋40℃
■使用電池（時計用）：単3形乾電池ｘ１個
電池寿命〔時計用）：約9ヶ月
（アルカリ乾電池使用の場合）
■使用電池（振子用）：単3形乾電池ｘ１個
電池寿命〔時計用）：約9ヶ月
（アルカリ乾電池使用の場合）
■受信電波：標準電波JJY
周波数：40kHz/60kHz（自動選局）
■自動受信回数：最多12回/1日、最小1回/1日

※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。
※機種により、３針タイプ（秒針・分針・時針）と２針タイプ（分針・時針）があります。

株式会社　インターフォルム神戸市中央区新港町5-1
TEL:078-392-8423　FAX:078-392-8427

各部の名称

電波が受信出来ない場合

■再度受信をさせる
通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間以上押して下さい。時・分・秒針が早送りされ12時位置で停止し再度2〜6分程度電波受信状態となります。
※電池を入れた直後の電波受信以外は、電波受信状態中も時刻を計算している為、受信できなかった場合は受信中の経過時間を加えた位置まで針が進み、通常運針をはじめます。
※電波受信中(時分秒針の早回り中と12時位置で停止中)はRECボタンを操作しないで下さい。誤作動・故障の原因となります。

■一昼夜そのままにして様子を見る
夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。
※初期受信ができなかった場合は、表示時刻が正常になるまで最多12回の自動で受信を始めます。
※最多12回の自動受信で受信できなかった場合は、以後24時間に1回（表示時刻午前1時）に自動受信を行います。

■設置場所を変えてみる
設置場所を変えて再度受信をさせて下さい。
※設置場所を変える場合は、本取扱説明書の＜電波時計について＞を参照して下さい。

■手動で時刻を設定する
＜手動による時刻設定の方法＞を読んで時刻を手動で合わせて下さい。

手動による時刻設定の方法

※電波受信中（時分秒針の早回り中と12時位置で停止中）は手動による時刻設定は出来ません。必ず通常の運針中に操作して下さい。故障・誤作動の原因となります。

■通常運針時にM.SETボタンを3秒以上押し続けると、手動設定モードになります。
※手動設定モードになると秒針が止まります。

■手動設定モード中（秒針が停止中）にM.SETボタンを1回押すごとに分針が１分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、離すと止まります。

■ボタンを放して7秒以上経過すると秒針が動き出し、通常運針を始めます。

※手動で時刻を設定した場合は、内蔵された標準時計により自動受信をしますので、受信できる状態になれば時刻を自動で修正します。

※受信に成功すると内蔵の標準時間を校正し正確な時刻を表示します。

ご使用方法

①電池を入れる
・単3形アルカリ電池１個を時計用電池ホルダーの+-の表示に合わせて入れてください。
・単3形電池1個を電池ホルダーに入れて下さい。

②時計を掛ける
※本説明書の＜時計の掛け方について＞と＜電波時計について＞を参照して下さい。

③電波を受信する
電池を入れると電波受信状態となり、時・分・秒針が12時の位置で一旦停止します。（機種により2針モデルもあります。）
・電波を確実に受信すると針が早回りを始めて自動で標準時刻を指し、通常の運針を始めます。
※電波受信中（2〜16分程度）は針が止まったままになりますが、故障ではありません。
※機種により電池フタ付きの場合があります。
※2針のモデルは時針・分針が運針します。

■電波受信ができなかった場合
・電波受信状態（12時で停止状態）から17分程度経過しても受信できなかった場合は、針がその位置から通常の運針を始めます。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、全ての電池を一旦電池ホルダーから取り外し、1分以上経ってから再度挿入して下さい。設定されている内容が初期の状態に戻り、受信を再スタートします。

安全上のご注意　〜必ずお読みください〜

電池の使い方を間違えると電池が発熱・液漏れ、・破裂してケガや機器の故障の原因となります。
「注意」「警告」の記載事項を必ず守って下さい。

⚠ 注　意

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警　告

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注　意

■分解・改造はおやめ下さい。
■強いショックを与えないで下さい。
■不安定な場所には時計を設置しないで下さい。
※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

電池について

⚠ 注　意

■種類の違う電池は混ぜて使用しないでで下さい。
■電池交換する際は新しい電池とすべて交換してください。
■使用済みの電池は、すぐに機器から取り出して下さい。
■長時間使用しない場合は電池を機器から取り出して下さい。
■付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。
■電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないで下さい。
■直射日光や高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
■製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換することをおすすめします。また時計を使わないときは電池をすべてはずして下さい。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。

⚠ 警　告

■電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。
■電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談して下さい。
■分解や加熱、火に入れるなどしないで下さい。
■+-の向きを正しく入れて下さい。
■+-をショートさせたり、ネックレスなどの金属製の物と一緒に携帯、保管しないで下さい。
■電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚や衣服に着いたときは大量のきれいな水で洗い流しすぐに医師の診断受けて下さい。
失明やケガなどの恐れがあります。